

## ～わかる授業、楽しい授業を展開しましょう～

平成24年1月4日発行



あけましておめでとうございます！

平成24年がスタートしました。

新たな気持ちで、教育活動に励んでいきましょう！



さて、私たち教員は、「わかる授業」、「楽しい授業」を展開することが大切です。「教員は、授業で勝負！」とよく言われますね。

前島教育長は、日々の授業の質を高め、「授業が面白い」「次の授業が楽しみ」という状況を作り出し、「頑張った」「できた」「ほめられた」という体験をつまさせることが、子どもたちの学習意欲を喚起し、「学力の向上」につながり、そのことが、学校生活への前向きな姿勢を作り出し、不登校など生徒指導上の課題の解決にもつながるということを、就任以来常々話されています。

今回は、埼玉大学教育学部准教授 おくら やすし 小倉 康 先生（昨年度まで、国立教育政策研究所）の御講演「新学習指導要領が求める理数教育の充実について ～確かな学力を育む学習指導を通じて～」より、「理科・授業評価の観点」を紹介します。

※すべての教科の授業評価に生かせると思います。

### 理科・授業評価の観点Ⅰ “教える事柄を工夫しているか”

[I-1] 学習課題を明らかにしているか。

- ・必然性のある学習課題の提示、導入での課題づくりの工夫、まとめにおける課題の明確化、次時への予告・課題提示など

[I-2] 内容の取り扱いを工夫しているか。

- ・講義や観察実験における内容の取り扱いの工夫

[I-3] 学習方法を的確に提示しているか。

- ・全員を対象として、観察・実験の準備や実施方法、班や個別の学習方法を指示するなど

[I-4] 既習事項の定着を図っているか。

- ・前時の復習、基礎的知識・技術の確認など



### 観点Ⅱ “効果的な授業技術を用いているかどうか”

[II-1] 効果的な授業形態をとっているか。

- ・効果的な観察実験や班学習の形態、時間の使い方（無駄な時間の有無、行動の敏速さ）など

[Ⅱ－2] 効果的な教材・教具・メディアを用いているか。

・効果的な観察実験の教材、ワークシートやノート、教科書、板書、視聴覚機器、コンピュータの活用、教師の声や体や教材の使い方など

[Ⅱ－3] 生徒の学習状況を把握しているか。

・学習状況の的確な把握、班や個の学習状況に応じた助言・支援・配慮、机間支援など



### 観点Ⅲ “生徒の活動を喚起するための工夫をしているか”

[Ⅲ－1] 思考を促すための支援をしているか。

・児童・生徒の考えを発表させたり吟味させたりする工夫、集中させる工夫、思考を深めたり科学のプロセスを重視させたりする工夫など

[Ⅲ－2] 生徒の創意や主体性を促しているか。

・疑問や予想をもつことを重視する姿勢や新たな発想の励まし、児童・生徒の主体性（積極性、自主性、生徒間での意見交換）の促しなど

[Ⅲ－3] 生徒の学習時間を保障しているか。

・実験、思考、作業（ノート、プリント記入）、まとめ、話し合い、発表などでの十分な時間



### 観点Ⅳ “良好な学習環境を築いているかどうか”

[Ⅳ－1] 生徒との信頼関係を築いているか。

・教師と児童・生徒及び児童・生徒間での親しさ、児童・生徒の心情への配慮やよい関係づくりのための行為、教師の人間味ある語り方や表情など

[Ⅳ－2] 学級づくりができているか。

・学びの姿勢、子どもの役作り、学習に積極的で協力的な雰囲気など

[Ⅳ－3] 学習のための環境整備が良いか。

・実験室やその他の教室、野外などでの環境面の整備の工夫や安全性への配慮



### 授業改善のヒント、ワークシート

※リンクしています。

各学校の工夫された取組を紹介しています。 時間のあるときに、ぜひご覧ください！

○ [平成23年度「埼玉県小・中学校学習状況調査」で成果のあがっている取組事例](#)

○ [学力向上に係る効果的事例の紹介](#)

○ [「学力向上ワークシート」](#)小6算数、中3数学を更新しました。

(小4、5、6の算数、中1、2、3数学の問題があります。)

○ [「コバトンの計算練習\(百マス計算\)」](#)もあります。

